



平成 26 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 オンコリスバイオフィーマ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生
 (コード番号：4588)
 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 六反田 靖
 管理担当兼経理部長
 (TEL.03-5472-1578)

営業外費用、特別損失の発生等及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 4 月 14 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の動向を踏まえ、平成 26 年 2 月 14 日に公表した、平成 26 年 12 月期の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	14	Δ424	Δ335	Δ337	Δ36.70
今回修正予想(B)	18	Δ414	Δ342	Δ343	Δ37.35
増減額(B-A)	4	10	Δ7	Δ6	
増減率(%)	28.6	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期 第 2 四半期 (累計))	0	Δ290	Δ222	Δ223	Δ34.36

2. 平成 26 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表 予想(A)	1,164	Δ102	24	21	2.38

今回修正 予想(B)	30~1,058	Δ1,145~Δ322	Δ1,029~Δ206	Δ1,031~Δ208	Δ112.27~Δ22.65
増減額 (B-A)	Δ106~Δ1,134	Δ220~Δ1,034	Δ230~Δ1,053	Δ229~Δ1,052	
増減率(%)	Δ9.1~Δ97.4	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	1	Δ665	Δ625	Δ635	Δ94.33

3. 平成 26 年 12 月期第 2 四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日）の理由

従来営業外収益として計上していましたが検査薬事業の受託検査は、検査系の一定の確立を得て収入としても毎月安定して計上されるようになりましたため、今期より売上高に計上するよう会計方針を変更しています。

その結果、第 2 四半期（累計）売上高の予想が 14 百万円から 18 百万円に増加しています。

また、第 2 四半期（累計）営業利益に関しては、売上高の増加及び販管費の発生遅延により、営業損失 424 百万円から営業損失 414 百万円に予想値を変更しています。第 2 四半期（累計）経常利益に関しては、Medigen Biotechnology Corp.（台湾）からの OBP-301 に係る受取研究開発負担金の一部が第 3 四半期以降に持ち越され、9,187 千円の営業外収益の減少が発生したことに加え、為替差損 2,730 千円の発生を見込んでいます。その結果、経常損失 335 百万円から経常損失 342 百万円に予想値を変更しています。また、第 2 四半期（累計）当期純利益に関しては、本社移転に伴う特別損失 271 千円の発生を見込み、当期純損失 337 百万円から当期純損失 343 百万円に予想値を変更しています。

その結果、第 2 四半期（累計）1 株当たり当期純損失は、36.70 円から 37.35 円に予想値を変更しています。

4. 平成 26 年 12 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）の理由

① 売上高の修正に関する理由

平成 26 年 4 月 4 日に公表しましたとおり、当社は Bristol-Myers Squibb Company から OBP-601 の「Exclusive License Agreement」に関する解除通知を同日付で受領しました。本契約解除に伴い平成 26 年 4 月 4 日以降の「Exclusive License Agreement」に基づく Bristol-Myers Squibb Company からの全てのマイルストーン収入が消滅します。

一方、本契約解除後速やかに OBP-601 のライセンス導出に向けた活動を行い、平成 26 年中の OBP-601 の新たな提携契約締結並びに、新提携先からの契約一時金の受領を見込んでいますが、現時点で確定した事実はございません。

また、従来営業外収益として計上していましたが検査薬事業の受託検査は、検査系の一定の確立を得て収入としても毎月安定して計上されるようになりましたため、今期より売上高に計上するよう会計方針を変更しています。

その結果、従来通期売上高予想を 1,164 百万円で開示していましたが、30 百万円～1,058 百万円に予想値を変更しています。

② 営業利益の修正に関する理由

平成 26 年 4 月 4 日に公表しましたとおり、当社は Bristol-Myers Squibb Company から OBP-601

の「Exclusive License Agreement」に関する解除通知を受領しました。本契約解除に伴い平成 26 年 4 月 4 日以降の「Exclusive License Agreement」に基づく Bristol-Myers Squibb Company からのマイルストーン収入に伴う Yale 大学への特許関連費用の減額が発生します。

一方、本契約解除後速やかに OBP-601 ライセンス導出に向けた活動を行い、平成 26 年中の OBP-601 の新たな提携契約締結、新提携先からの契約一時金受領に伴う Yale 大学への特許関連費用を見込んでいますが、確定した事実はございません。

また、平成 26 年中の新規パイプラインの導入を見込んでおり、導入のための契約一時金費用及び研究開発費用の発生を見込んでいます。

その結果、従来通期営業損失を 102 百万円で開示していましたが、通期営業損失 1,145 百万円～322 百万円に予想値を変更しています。

③ 経常利益及び当期純利益の修正に関する理由

従来営業外収益として計上していましたが検査薬事業の受託検査は、検査系の一定の確立を得て収入としても毎月安定して計上されるようになりました。そのため、今期より売上高に計上するよう会計方針を変更し、営業外収益が減少いたします。また、Medigen Biotechnology Corp. (台湾) からの OBP-301 に係る受取研究開発負担金の一部が 2015 年 12 月期以降に持ち越され、営業外収益 717 千円減少の発生を見込んでいます。

その結果、従来通期経常利益を 24 百万円で開示していましたが、通期経常損失 1,029 百万円～206 百万円に予想値を変更しています。また、従来通期当期純利益を 21 百万円で開示していましたが、通期当期純損失 1,031 百万円～208 百万円に予想値を変更しています。

なお、従来一株当たり純利益を 2.38 円で開示していましたが、一株当たり純損失 112.27 円～22.65 円に予想値を変更しています。

(注) 上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上